



コミュニティわかつき

7月の活動報告

榛名女子学園へ視察

7月6日(火)榛名女子学園への視察研修会を開催しました。

当施設は、関東、甲信越、静岡地方にある家庭裁判所の審判により、保護処分として少年院送致を受けた14歳以上20歳未満の女子少年を収容し、心身ともに健康な女性として社会復帰させるための施設です。同じ矯正施設でも、刑務所の懲役教育ではなく、教科教育により資格を取得させるという施設の雰囲気。また、彼女達のとても素敵な姿を見せてくれていることに驚きも感じました。人権教育部会では、人に与えられた権利の中、地道な活動を行っていきたいと思います。

三登山産業廃棄物現地視察

7月7日(水)市廃棄物対策課の同行により、三登山産業廃棄物処理施設の現地視察を開催し、環境部会や吉・田子区長など役員が参加しました。

以前から放置されている廃棄物の処理は、市担当課の指導により徐々に進められていますが、環境部会では、現地視察を秋までに2回予定しています。

社会を明るくする運動



竹内哲(あきら)さんによる講演

7月24日(土)若槻コミュニティセンターにおいて、社会を明るくする運動若槻地区住民集会を開催し、130名の参加がありました。

法務省が主唱する犯罪のない明るい社会を築くための運動を効果的に推進するために行うものです。

この集会では、小中高生の作文発表、市立長野高校音楽部による合唱、保護司竹内哲(あきら)さんによる講演を聴きました。

「本物を知って社会を明るくしよう」を演題に正しいものの区別や慈悲心について、自分を見つめなおす機会ができました。

外来植物撲滅運動

7月25日(日)猛暑の中環境部会主催により、駒沢川堤防の外来植物(アレチウリ)駆除を行い、34名の参加がありました。

アレチウリは、北米が原産地でウリ科の植物であり、生命力が強く成長すると長いもので10m以上に繁茂し、他の植物を枯らしてしまうため、環境部会が主導となり駆除を実施しました。

来年度も引き続き定期的な駆除を行い、地区内の環境整備に取り組みます。



炎天下にアレチウリの根っこ探し